

昭和56年度

浪合村における

夏季活動 報告書

東京医科大学社会医学研究会
協賛：浪合村、朝日生命厚生事業団

I	はじめに	2~3
I	夏季活動概容	3~5
	1. 日程	
	2. 参加者	
II	検診結果報告	5~12
	はじめに	
	1. 肥満度	
	2. 尿検査	
	3. 血圧	
	4. 心電図	
	5. 総合判定	
	6. 学校検診	
	7. 総括	
IV	懇談会報告	13~45
	1 恩田	2 荒谷
	3 治部坂	4 官本
	5 中下	6 上町
	7 上半堀	8 下半堀
	9 官原	
V	寄生虫講演会報告	47~53
VI	家庭訪問 事業所訪問	54~55
VII	総括	56
VIII	謝辞	57

I はじめに

浪合村の皆様お元気ですか

東京医大が浪合村でフィールド活動を始めさせて頂いてから、早いもので今年で11年目を迎えました。

昨年、10年目を記念して「10年間のまとめ」という冊子をつくりました。衛生委員さんを通じて各戸に配布しましたが、御活用なさっているでしょうか。

寄生虫、高血圧、医療費など身近な問題について触れてありますので、是非御一読願いたいものです。

さて、今年も家庭訪問、懇談会、循環器検診を中心とした活動を7月18日～30日にかけて行ないましたので、その報告をさせて頂きます。

懇談会は昨年から始まったものですが私たちの活動の中でも重要なものです。

この部分は少し詳細に記録しておきましたので参加されなかった方もその様子を是非知っていただきたいと思います。

私達も、このまとめをもとに、来年より一層充実した活動ができるよう努力したいと思います。

健康は人間の生活に最も密着した問題です。この冊子を読んで自分の健康、さらに村全体の健康

VIII 謝 辞

11年目を迎えた活動が無事終了し、この報告書が完成できましたのも、ひとえに、暖かい御理解と物に面から絶大なる御援助を下さった、浪合村、大学各教室、朝日生命厚生事業団の御力添えによるものと心から感謝致します。また、今後ともよろしく御支援、御指導を賜りますよう何卒よろしく御願い申し上げます。

＜浪合村関係＞

浪合村役場、青年団、各自治会長
衛生委員、公民館、商工会議所
診療所、浪合小中学校、高原荘
治部坂スキー場、飯田保健所、塩沢商店

＜東京医大関係＞

公衆衛生学教室、生理学教室、病理学教室
学務課、学友会、三部会、新聞会
フクダ電子、看護専門学校、アイスホッケー部

＜活動資金関係＞

浪合村、朝日生命厚生事業団、東医三部会
社医研OB会

最後に、浪合村の皆様、暖かいもてなし、本当に有難うございました!!

— 編集後記 —

浪合から持ちこんだ原稿で、とてもつかれました。—ユカ—
どうも、こくろうさまです。—トカ—

東京は暑くて、もう汗だらだら、あせももかゆいし、浪合で蚊にツツ
ちまうもとってむかゆい。—じゅんこ—

久しぶりに遊びに来ました。光陰、矢の如し。Xサーバーが、ずい
ぶん変わりました。年令を感じます。—マシマ—

嫌だったおしんこが食べられるようになりました。^{なま}
もっとあそびたかった。—俊介—

長いようで、短い毎日でした。
疲れました。私も年でしょうか?.....

—チカ—

後藤

たったこれだけの報告書をつくるだけでも、大変な
労力です。浪合村の皆さん、是非読んで下さい!!
(長尾)

真夏のサウナ風呂＝印刷室というのが実感された。

あ〜暑い!! タカレタ〜

<中村>

コミュニケーションって考えるより実際に行動する方
が案外容易であるみたい。

<松葉>

発行日：昭和56年8月10日

発行者：東京医科大学社会医学研究会
〒160 新宿区新宿 6-1-1

連絡先：長尾和宏(医4) 962-1679
富樫孝(医4) 394-3314